

新しい国立競技場に求められる要件について（案）

1. 新国立競技場に求められる主な要件（目指すスタジアムの姿）

（1）大規模な国際競技大会の開催が実現できるスタジアム

- ・ 国家プロジェクトとして、世界に誇れ、世界が憧れる次世代型スタジアムを目指す
- ・ アスリートやアーティストのベストパフォーマンスを引き出す高性能スタジアムを目指す

（2）観客の誰もが安心して楽しめるスタジアム

- ・ 世界水準のホスピタリティ機能を備えたスタジアムを目指す
- ・ 開閉式の屋根や、ラグビー、サッカー及び陸上いずれの競技の開催においても、競技者と観客に一体感が生まれる観覧席を備えた、快適で臨場感あふれるスタジアムを目指す

（3）年間を通してにぎわいのあるスタジアム

- ・ コンサート等の文化的利活用を楽しめる工夫が施され、特に音響に配慮された多機能型スタジアムを目指す
- ・ 各種大会や文化利活用がない時でも気軽に楽しめる商業・文化等の機能を備えたスタジアムを目指す

（4）人と環境にやさしいスタジアム

- ・ 最先端の環境技術を備え、緑あふれる周辺環境と調和するスタジアムを目指す
- ・ 震災等の災害発生時にも安全で、避難・救援等に貢献できるスタジアムを目指す
- ・ スタジアム内外及び周辺駅からのバリアフリーに配慮されたスタジアムを目指す

2. 新国立競技場に求められる施設構成（導入機能と規模）

- ・ 新国立競技場に求められる施設機能の基本的な考え方は、次のとおりである。
- ・ 新国立競技場の施設構成（導入機能と規模）は、[表1]に示すとおりである。

【競技等機能】

- ・ 2019年に日本で開催されるラグビー・ワールドカップの決勝会場に必要な機能を整備する
- ・ ラグビー、サッカー、陸上競技の大規模な国際大会を実施できる最高水準の機能を整備する
- ・ オリンピック・パラリンピック競技大会のメインスタジアム（開閉会式、陸上競技、ラグビー、サッカー）に必要な機能を整備する
- ・ コンサート、展覧会、ファッションショー等のイベントを実施できる機能を整備する
- ・ 天候に影響されない利活用を実現できる開閉式の屋根を整備する

【競技等関連機能】

- ・ 大規模な国際大会の実施に当たって規定された、競技者及び運営関係者の必要諸室を整備する
- ・ 競技者が競技に専念できる、安全で快適な競技者関連諸室を整備する

- ・ 安全でスムーズな大会運営が可能となる設備を有する、大会運営関連諸室を整備する
- ・ 適切な規模と設備を有し、プライバシーや快適性に配慮されたドーピング検査室を整備する
- ・ コンサート等のイベントに必要な運営関連諸室を整備する

【観覧機能】

- ・ ラグビー、サッカーの競技者と観客に一体感が生まれ、臨場感あふれるピッチに近い観覧席を整備する
- ・ オリンピック・パラリンピック競技大会が実現できる8万人規模の観覧席を整備する
- ・ 天候に影響されない快適な観覧環境を実現できる開閉式の屋根を整備する
- ・ あらゆる規模のイベントにおいて臨場感あふれ、特にコンサート使用時の優れた音響環境を備えるスタジアムを整備する
- ・ 安全で快適な観客動線や溜まり空間等を整備する

【メディア機能】

- ・ 各種メディアがスムーズに活動できる設備を有するメディア関連諸室を整備する
- ・ 最新技術に対応しつつ、今後の技術進歩に対する冗長性を有する設備を整備する

【ホスピタリティ機能】

- ・ 世界水準のホスピタリティ機能を整備する
- ・ バリアフリーに対応した誰もが安心して楽しめるホスピタリティ機能を整備する
- ・ 世界水準のおもてなしが実現できるVIP関連諸室を整備する
- ・ 各種大会や文化利活用がない時でも楽しめる機能を整備する

【防災警備機能】

- ・ 観客、選手、運営関係者等スタジアム利用者の安全が確保される機能を整備する
- ・ 災害発生時には避難場所となる機能を整備する

【スポーツ振興機能】

- ・ スポーツのすばらしさを伝えるスポーツ博物館、図書館等を整備する
- ・ スポーツ関連商業施設等を整備する
- ・ 学生の教育の場、観光客の観光スポットとなる機能を整備する

【運営・維持管理機能】

- ・ 最高水準のスタジアムを維持するための最高水準の維持管理機能を備える
- ・ 環境にも配慮した設備や維持管理機能を備える

【芝生の育成】

- ・ 芝生の育成に必要な太陽光、風、水、温度をコントロールできる環境を整備する

【その他機能】

- ・ スタジアム内外及び周辺駅からのバリアフリー環境を整備する
- ・ 現国立霞ヶ丘競技場の聖火台等の記念作品や芸術作品の活用を検討すること

表1 新国立競技場の施設構成（導入機能と規模）

新国立競技場		
機能	諸室	必要面積
競技等機能		
競技場等	<ul style="list-style-type: none"> ラグビー、サッカー、陸上競技を実施 コンサート等のイベントを実施 	約32,000㎡
競技関連諸室	<ul style="list-style-type: none"> 練習用走路（バックスタンド下） トイレ、倉庫、廊下等 	
競技等関連機能		
競技者等関連諸室	<ul style="list-style-type: none"> 選手更衣室、シャワー室、控室等 ウォーミングアップスペース 監督室 トレーニングルーム チームバス等専用出入口、駐車スペース（駐車場面積に含む） コンサート等のイベント関係諸室等 	約15,000㎡
医務、アンチドーピング諸室	<ul style="list-style-type: none"> 医務室 ドーピングコントロール室等 	
運営管理関連諸室	<ul style="list-style-type: none"> 運営本部室、会議室等 記録室 係員控室、操作室等 審判更衣室、審判ウォーミングアップスペース コミッショナールーム 写真判定室等 	
共用部	<ul style="list-style-type: none"> トイレ、倉庫、廊下、各諸室等 	
観覧機能		
観客席	<ul style="list-style-type: none"> 収容：陸上で8万人＋ラグビー、サッカーで臨場感あふれる観覧席（バリアフリー対応席、VIP、記者席を含む）、通路 	約111,000㎡
観覧等関連施設	<ul style="list-style-type: none"> 入場口、チケット売り場、総合案内所等 救護室 託児室、授乳室 トイレ、喫煙スポット、通路等 	
飲食、物販	<ul style="list-style-type: none"> レストラン、売店 	
メディア機能		
記者席、放送席	<ul style="list-style-type: none"> 観客席面積に含む 	約4,000㎡
メディア関連諸室	<ul style="list-style-type: none"> 記者等の作業スペース、カフェラウンジ、控室等 実況放送スタジオ等 	
会見室	<ul style="list-style-type: none"> 会見場 ミックスゾーン 	
共用部	<ul style="list-style-type: none"> トイレ、倉庫、廊下等 	
放送関係車用スペース	<ul style="list-style-type: none"> 中継車等放送関係車用スペース（駐車場面積に含む） メディア用駐車場等（駐車場面積に含む） 	

表1 新国立競技場の施設構成（導入機能と規模）（つづき）

新国立競技場		
機能	諸室	必要面積
ホスピタリティ機能		
VIP/VVIP席	・ 観客席面積に含む	約25,000㎡
ホスピタリティ諸室	・ スポンサー等のバルコニー席が付いた個室形式の観戦ボックス	
	・ VIP用のラウンジ、レストラン、飲食スペース等 ・ VVIP控室等	
共用部	・ トイレ、倉庫、廊下等	
防災警備機能		
警備関連諸室	・ 警備本部 ・ 警備員控室等 ・ 警察・消防控室等	約1,000㎡
スポーツ振興機能		
スポーツ博物館等	・ 博物館、図書館等	約21,000㎡
スポーツ関連商業	・ スポーツに関連する幅広い業種業態の店舗等の集積 ・ スポーツ産業としてのアンテナショップ等 ・ トレーニングセンター	
共用部	・ トイレ、倉庫、廊下等	
維持管理機能		
管理運営諸室	・ 管理運営に係る本部機能 ・ 会議室等	約35,000㎡
維持管理諸室	・ 防災センター、設備センター、清掃センター ・ 駐車場センター ・ 各種倉庫、備品等置き場等	
各種設備機械室等	・ 受変電設備、受水排水設備、熱源設備等 ・ トイレ、倉庫、廊下等	

※トイレ、廊下、階段等の共用部は各機能ごとの面積に含む。

容積対象床面積	（駐車場除く）	約244,000㎡
駐車場	・ 来客、中継、メディア、搬入用スペース、車路等	約46,000㎡
延床面積		約290,000㎡